

「自立循環型住宅、設計講習会」温暖地版 in 佐賀

主催：(公財) 佐賀県建設技術支援機構

平成29年2月1日(水)

グランデはがくれ、フラワーホール

今年の「自立循環型住宅設計講習会」は、地元の地域である「温暖地版 in 佐賀」と題して、自立循環型住宅への設計ガイドライン(温暖地版)のテキストの内容を、3人の講師の方々より説明を頂いた。また、3人の講師の方は、このテキストの作成に携わった先生方であるので、より詳しく、解りやすく説明をして頂いた。

自立循環型住宅とは、気候や敷地特性など立地条件と住まい方に応じて極力自然エネルギーを活用した上で、建物と設備機器の選択に注意を払うことによって居住性や利便性の水準を向上させつつ、居住時のエネルギー消費量(CO2排出量)を2010年頃の標準的な住宅と比較して太陽光発電を含めずに50%にまで削減可能な、現時点において十分実用化できる住宅を言います。

- 講師の紹介
- ・ 1番目に、アルセッド建築研究所 代表取締役 大島 靖彦 氏
 - ・ 2番目に、九州大学院 人間環境学研究院 准教授 住吉 大輔 氏
 - ・ 3番目に、国土技術政策総合研究所 建築研究部長 澤地 孝男 氏



※ 自立循環型住宅の達成の為に、15種類の要素技術について、省エネルギー効果のある設計手法・配慮事項と一次エネルギー消費量の削減率(エネルギー削減率)を示して頂きましたので、これらを今後どう活かして行くかと思われまます。

取材：(一社) 佐賀県建築士事務所協会・大家